

第2群(活動報告)

県内自治体保健師の人材育成及び確保・定着に向けた取組

発表者(筆頭者)所属・氏名 医療人材対策室 技師 辻真由子

八巻直恵, 築場玲子

キーワード:保健師, 人材育成, 確保・定着

I はじめに

保健師の人材育成体制について、各職場、各圏域、全県の取組状況等を定期的に評価・検討する場が必要である¹⁾。また、保健師の確保・定着に苦慮している自治体もあり、県内自治体保健師の確保・定着の方策について検討する場も必要とされている。そこで、検討会を設置し、各種調査を実施した上で、県内自治体保健師の人材育成及び確保・定着を推進するための新たな取組を始めたので報告する。

II 方法・活動内容

- ① 「宮城県保健師育成検討会（以下、検討会）」の設置及び開催
本県における保健師の資質向上及び確保・定着に関する施策を検討することを目的に、市町村、県、大学（保健師養成課程）、職能団体の代表者等で構成される検討会を平成29年度に設置した。＜平成29年度開催回数：2回＞
- ② 「保健師の人材育成及び確保・定着に関する調査」の実施
平成29年度第1回検討会での検討内容を踏まえ、県内35市町村及び県保健所（支所）9機関を対象に、「保健師の現任教育及び『みやぎの保健師人材育成ガイドライン』の活用状況等に関する調査」を実施した。また、県内保健師養成校4校・学生267名、県内自治体採用1年目保健師43名、県内市町村人事担当課及び保健師人材育成担当課（各35部署）、県保健師担当課を対象に、「保健師の確保・定着及び就職活動等に関する調査」を実施した。本調査の結果を分析し、平成29年度第2回検討会において、県内自治体保健師の人材育成及び確保・定着に関する取組の方向性を定めた。
- ③ 「平成30年度保健師の人材育成等に係る担当者会議」の開催
県内各市町村及び県保健所（支所）の保健師人材育成担当者及び人事担当者を対象とした担当者会議を開催し、県内自治体保健師の人材育成及び確保・定着に関する取組の方向性について共有し、県内自治体保健師の人材育成等を推進した。
- ④ 「県内自治体保健師活動紹介ガイドブック」の作成
保健師を志望する学生等に対し、保健師活動の概要や、県内各自治体の保健師活動の魅力等を伝えるため、ガイドブックを作成した。全国でも類を見ない先駆的な取組と評されており、作成の過程を通して、保健師人材育成担当部署と人事担当部署の連携が推進される等の効果も得られた。
- ⑤ 「平成30年度宮城県自治体保健師合同就職説明会」の開催
県内自治体職員が保健師養成課程の現状等を知り、保健師志望者が県内各自治体の保健師活動の魅力を知ること、県内各自治体への就業促進及び離職防止を図ることを目的に、新規事業として平成31年3月6日に当該説明会を開催する予定である。

III 考察

各種調査及び検討会での議論の結果、本県においては、自治体保健師の人材育成と確保・定着は表裏一体の関係にあり、連動させながら取り組む必要があることが示唆された。

県内自治体保健師の人材育成及び確保・定着を推進するためには、自治体、保健師養成校、職能団体の連携が必要であり、自治体内における保健師人材育成担当部署と人事担当部署の連携が不可欠である。検討会の設置は、その連携を推進する契機となった。また、各種調査を実施した上で、本県に必要な施策を検討し、関係機関と共通認識を持ちながら各施策を展開することにより、県内自治体保健師の人材育成体制構築が推進されたと考える。

IV おわりに

今後も、県内の自治体、保健師養成校、職能団体が連携し、県民の健康に重要な役割を果たしている自治体保健師の人材育成及び確保・定着を推進する必要がある。

V 引用文献

- 1) 宮城県保健福祉部、みやぎの保健師人材育成ガイドライン、2016